

## 東日本外壁仕上業協同組合が外壁仕上一級技能者認定講習と試験を実施

東日本の合格者は7名。全国3地区で30名が合格

東日本外壁仕上業協同組合(高橋敦也理事長)は11月20日(日)、東京・大田区区京浜島の会場(森商事(株)東京支店)で外壁仕上一級技能者認定講習会を開催した。内容は実技検定及び学科講習および試験の2種類で7名が合格証を手にした。

講習会は、8時40分より小野澤専務理事によるガイダンスがあり、高橋敦也東日本外壁仕上業協同組合理事長の挨拶後、9時よりスタート。昼食を挟み午後5時まで実施された。

冒頭、小野澤昭専務理事によるガイダンスに続き、高橋敦也東日本外壁仕上業協同組合理事長が「一級技能者は、建築現場の職能の要として今後益々重用される状況にあり、更に上位の登録基幹技能者を目指すための必須資格です。皆さんの合格を期待しています」と激励を込めて挨拶した。このあと、9時より1時間30分にわたって実技試験が実施された。同試験は塗り見本と同色にムラなく仕上げる作業で、高橋敦也氏(理事長・(株)ワールド工業)、野口陽一氏(副理事長・日幸化学工業(株))らが立ち会った。

さらに受験者は10時30分より1時間にわたって講義を受けた。講義内容は小野澤昭専務理事(一級建築士)による「一般建築、建築用仕上塗材について」。

このあと昼食を挟んで3時間にわたって「建築用仕上施工について」「関連法規について」と題する講義があった。休憩後の4時より1時間にわたって「学科試験」が行われた。採点の結果、外壁仕上一級技能者新規受講者7名が合格した。

一方、近畿外壁仕上業協同組合(神農竹夫理事長)は11月12日(土)午前8時30分より大阪府東大阪市の(株)フジベック紀陽営業所で同講習会と試験を行った。この結果、外壁仕上一級技能者新規受講者14名が合格した。また、愛媛県仕上工事業協同組合(池田貞伸理事長)は、11月6日(土)午前8時30分より松山市の松山共同高等職業訓練校において同講習会と試験を行った。この結果、外壁仕上一級技能者新規受講者9名が合格した。

以上の結果、福岡地区を除く全国3地区で30名が合格し、平成29年11月開催予定の登録基幹技能者受験資格者となった。

小野澤専務理事によれば、「この一級技能者資格は、外壁塗装の分野における技能資格であり、顧客に対する品質確保の安心・安全を与えるものとなります。更にこの資格を受講要件とする最上位の登録基幹技能者を目指すことが、技能者が段階的にスキルアップしていくための大きなステップとなるものです。登録基



講習会の冒頭で挨拶する高橋敦也東日本外壁仕上協同組合理事長

幹技能者は国土交通省も奨励している資格制度であり、建設現場での一定数の配置を義務づけるなど今後益々、重用される資格で今後は合格のハードルも上っていくのが予想される。」と話している

登録基幹技能者制度は、建設産業の労働生産性の向上、品質・性能・安全の確保のために建設32業種41団体が整備されている制度。基幹技能者は、専門工事業種ごとの高度な専門知識・技能を有するだけでなく、建設一般に関する幅広い知識を有する人材。登録外壁仕上基幹技能者は、塗装・吹付分野での熟練技能者、上級職長に位置付けられる。登録外壁仕上基幹技能者になるためには、塗装・吹付分野での10年以上の実務経験と職長経験が必須となる。そのうえで、外壁仕上一級技能者合格者または国土交通大臣優秀施行顕彰者(建設マスター)であるという条件が必要となるため、今後、多くの受



講習会での講義のよう。  
講師は小野澤昭専務理事

験者がチャレンジしてくるものと思われる。

また、登録基幹技能者は国土交通省も奨励している資格制度であり、建設現場での一定国土交通省は、登録基幹技能者に対する経営事項審査(経審)の加点について、Z(技術力)の評価項目の中で、一人当たり一律3点の加点が実施されている。また、多くの公共工事における総合評価落札方式では、登録基幹技能者が施工することにより加点されることとなる。さらに、大手ゼネコンの協力を得ることを通じて、基幹技能者の賃金を底上げしていけるような制度も展開されており、登録基幹技能者への期待は拡大しつつあると言える。日本外壁仕上協同組合連合会は、国土交通省令第3号建設業施工規則の一部を改正する省令(平成21年4月28日付)に基づき、登録基幹技能者認定講習会を運営実施する認定団体として認定登録されている。

今回開催された外壁仕上一級技能者認定講習は、日本外壁仕上協同組



合連合会が独自に開催する講習会で登録基幹技能者への足掛かりとなる。

登録基幹技能者講習は、建設業法施行規則第18条の3の6の規定に基づき登録基幹技能者の認定を行う講習会だ。登録基幹技能者の資格を取得するためには、外壁仕上一級技能者認定講習を受け、試験に合格する必要がある。会場で講習会に立ち会った高橋理事長も「左官・塗装・防水分野の仕事に携わっておられる方は、是非、この登録外壁仕上基幹技能者試験の受験にチャレンジして頂きたい。登録基幹技能者の具体的役割は、建設工事現場の要となる上級職長であり、今後、益々重要な役割を期待されてくる資格です」と組合員および広く一般からの受講と資格取得に期待を寄せていた。

## ■ 短 信

近畿外壁仕上業協同組合(神農竹夫理事長)は恒例の平成29年「新年の集い」を平成29年1月19日(木)午後5時より大阪市北区の「ウエスティンホテル大阪」(4F「桔梗」)で開催する。

## ■ 40年の歴史をもつ全国組織です ■

日本外壁仕上業協同組合連合会(本部/東京都・会長/野口陽一:略称NGS)は、昭和42年に日本建築仕上材工業会の前身である日本防水リシン工業会の施工部門が独立して設立された建築吹付工事の専門家組織です。今日、外壁仕上協同組合連合会所属の会員会社は、吹付・塗装を業務の核としながらも、屋根・防水・内装工事など幅広い事業展開をしており、時代が求める総合リフォームのプロ集団へと変貌を遂げつつあります。国土交通省の行政指導のもと以下の全国5地区に事務所を置く協同組合の連合体です。活動状況など詳しくは本部事務局または各組合事務局にお訊ね下さい。  
 □東日本外壁仕上業協同組合(理事長:高橋 敦也)  
 □近畿外壁仕上業協同組合(理事長:神農 竹夫)  
 □愛媛県仕上工業協同組合(理事長:池田 貞伸)  
 □福岡外壁仕上業協同組合(理事長:川口 大介)

## ■ 登録外壁仕上基幹技能者を育成 ■

登録基幹技能者制度は、建設産業の労働生産性の向上、品質・性能・安全の確保のために建設27業種35団体で整備された制度です。基幹技能者は、専門工事職種ごとの高度な専門知識・技能を有するだけではなく、建設一般に関する幅広い知識を有する人材です。それゆえに、現場の実態に応じた的確な施工方法を技術者に提案することができ、関連業種との調整能力も発揮する人材です。

また、効率的な工事推進のための優れた現場管理能力・原価管理能力を有し、建設産業の労働生産性を高めることに資することのできる人材です。登録外壁仕上基幹技能者は、塗装・吹付分野での熟練技能者、上級職長に位置付けられます。建設現場で働く技能者をリーダーシップをもって束ね、指示・指導しながら、優れた塗装・吹付工事を達成できるよう努める人材です。登録外壁仕上基幹技能者になるためには、塗装・吹付分野での10年以上の実務経験と3年以上の職長経験が必須となります。そのうえで、外壁仕上一級技能者合格者または国土交通大臣優秀施工顕彰者(建設マスター)であるという条件が必要となります。

当該資格は、吹付塗装の分野における最上位資格であります。登録基幹技能者を目指すことは、技能者が段階的にスキルアップしていくための大きな目標となります。国土交通省は、登録基幹技能者に対する経営事項審査(経審)の加点について、Z(技術力)の評価項目の中で、一人当たり一律3点を加点することを決定しています。国土交通大臣に登録をした機関が実施する登録基幹技能者講習を修了し試験に合格した者は、新たに経営事項審査で加点されることとなります。さらに、大手ゼネコンの協力を得ることを通じて、基幹技能者の賃金を底上げしていけるような制度も模索されており、基幹技能者への期待は拡大しつつあります。

日本外壁仕上業協同組合連合会は、国土交通省令第3号建設業法施行規則の一部を改正する省令(平成21年4月28日付)に基づき、基幹技能者認定講習会を運営実施する認定団体として登録されました。講習は、建設業法施行規則第18条の3の6の規定に基づき「登録建設塗装基幹技能者」の認定を行う講習会であり、当該資格を取得するためには、この講習を受け、試験に合格する必要があります。吹付・塗装分野に携わっておられる方は、積極的に登録外壁仕上基幹技能者試験の受験をお勧め致します。登録基幹技能者の具体的役割は、建設工事現場の要となる、上級職長等として、以下の役割を通じて効率的で生産性の高い工事を実施する者を指します。

1. 現場の状況に応じた施工方法、工程等の提案、調整等、2. 現場作業を効率的に行うための技能者の適切な役割分担等作業手順の決定、3. 他の技能者の施工に係わる指示、指導、4. 前工程・後工程に配慮した他の職長等との連絡調整。登録基幹技能者に必要な能力は、1. 吹付塗装の技術に熟達していること、2. 吹付塗装の技術に関連する知識、技術の進展等に対応していく力、3. 現場をまとめ、体系立った効率的な作業を実施するための管理能力、4. 塗装・吹付に携わる方。

## ■ 受験資格・手続き・経営審査 ■

平成14年~20年に外壁仕上基幹技能者に合格された旧基幹技能者の方は、制度が登録外壁仕上基幹技能者になるにあたり、特例講習を受講する必要があります。特例講習の実施は、21年10月から24年3月まで完了となりました。